

受験番号

令和6年度 大学院看護学研究科 入学者選抜(第I期)問題[60分]

専門科目

注意事項

1. 解答開始の指示があるまで冊子の中を見てはいけません。
2. 解答用紙は「必須」と「選択」の2枚です。用紙についての不備や、不明な点などがあれば、手を挙げて監督者に知らせて下さい。
3. 解答は鉛筆・シャープペンシル(HBまたはB)で横書きに記述して下さい。
4. 監督者の指示に従って、所定の箇所に受験番号を記入して下さい(3箇所)。
5. 解答終了後、問題用紙は各自お持ち帰り下さい。

問題

以下のⅠ～Ⅲの問題のうち、出願した分野の問題を「必須」と書かれた解答用紙に解答しなさい。それ以外の分野の2つの問題のうち1つを選び、「選択」と書かれた解答用紙に解答しなさい。

Ⅰ【慢性看護学分野】

アルバート・バンデューラ (A. Bandura) は、自己効力理論において、人間の行動を決定する大きな要因の一つとして行動における自分自身の能力の捉え方 (認知) を重要視している。

バンデューラ (A. Bandura) が言う行動変容の鍵となる先行要因である「結果予期」と「効力予期」について具体例を用いて説明しなさい。

Ⅱ【地域看護学分野】

近年 18 歳未満の子どもであるにもかかわらず、大人が担うような家事や家族の世話、介護、感情面のサポートを行っている「ヤングケアラー」が社会問題となっている。

どのようなことが社会問題となっているか、具体的な例を挙げあなたの考えを述べなさい。

Ⅲ【母性看護・助産学分野】

母性看護領域における次の倫理的問題より、一つ選び、テーマを設定し起承転結で構成する小論文を作成しなさい。

1. 母親の生命・健康をまもることと、胎児の生命をまもることとの対立
2. 母親の自己決定権と、胎児の生存権との対立
(胎児の生存が親の決定で左右される状況)
3. 胎児の生命ともう一方の胎児の生命の対立
(多胎児の減数手術など)